

第3学年*組 外国語（英語）科学習指導案

指導者 仲澤 陽市
R2 研修センター長期研修

- 1 単元名 My Project 8 「日本文化を紹介しよう」
(SUNSHINE English Course 3)

2 本単元の目標

ALT から質問された日本文化を説明するために、外国文化の説明文を読んだり、日本文化について事実や説明、自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書いたりすることができる。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 学習した言語材料の特徴やきまりを理解している。 <技能> 日本文化について、自分の書きたいことを整理し、学習した言語材料を用いて書く技能を身に付けている。	ALT が理解できるように、日本文化について、自分の書きたいことを整理し、まとまりのある文章を書いている。	ALT が理解できるように、日本文化について、自分の書きたいことを整理し、まとまりのある文章を書こうとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元では既習表現を用いて、伝統的行事や祭りなどの日本文化について英語でスピーチ原稿を作り、発表する活動を行う。スピーチのモデルとして、アメリカのハロウィーンを読み、その構成を確認する。そして伝統行事や祭りなどの日本文化について当時の風習や起源・由来など調べたことをもとに、スピーチ原稿を作成する。相手の文化に、それに対応する概念がない場合は訳語だけを充てることはできず、説明を加えることになる。よって、日本文化についてどう表現すれば的確に理解してもらえるかを意識しつつ、発信するということに生徒の興味・関心が向けられることもねらいとしている。

(2) 生徒観

本校の生徒に、英語の4技能に関する意識調査（令和2年6月・9月実施、第3学年*人）を行った。この調査では、「話すこと」・「書くこと」といった発表技能の上達に向けた意欲よりも苦手意識の方が強いことが明らかになった。

さらに、1学期に行った実力テストの結果からも、「書くこと」に対しての課題が見られた。英作文における無答率は*%で、指定された語数に満たない生徒は*%であった。文章構成に関しても、後述するような論理の一貫性が見られる解答はほとんどなかった。以上のことから、「話すこと」への苦手意識をもつ生徒は減ってきたが、「書くこと」への苦手意識をもつ生徒が残っており、実際にまとまりのある文章を書くための手立てが必要であることが分かる。

(3) 指導観

第1時に本単元のゴールを提示することで、学習の見通しをもつことができ、生徒はそれぞれの学習場面と活動の意義と流れを理解し、主体的に学習に取り組みやすくなると考える。英語のパラグラフ(段落)は日本語の段落とは異なり、大きく分けると「主題文・支持文・結論文」の三つの要素で構成される。自分の書きたいことを整理し、まとまりのある文章を書く力を育成するためには、これら三つの要素を意識して一貫性のある文章を書くことが必要であると考ええる。このパラグラフの作成過程で、生徒相互で読み合いアドバイスし合う対話的な活動であるピアフィードバック活動を行う。ピアフィードバック活動により、自己の考えを広げたり深めたりし、書くための内容を引き出し、読み手に伝わるように論理的に考え、その内容を表現することにつながると考える。

5 単元の指導計画(7時間扱い)

次	時	学習内容・活動	知	思	態	留意点【評価方法】 ○＝指導に生かす評価 ◎＝記録に残す評価
1	1	単元の最後に行うレポート作成について見通しをもつことができる 1 日本文化を口頭で紹介する。 2 ALTからの質問を聞き、本単元の目標を理解する。 3 グッドモデルを見ることで、ゴールを確認する。	○			知：モデルを読んで理解していない生徒には、ヒントを与え理解を促す。 【観察】
	2 3	英語のパラグラフの特徴について理解することができる 1 モデル文を読み比べ、違いに気付く。 2 英文を書く際の注意点について理解する。 3 英語のパラグラフの特徴を意識した文章作りを行う。	○			知：英語のパラグラフの特徴を捉えられていない生徒には、モデル文を示し、理解を促す。 【観察、ワークシート】

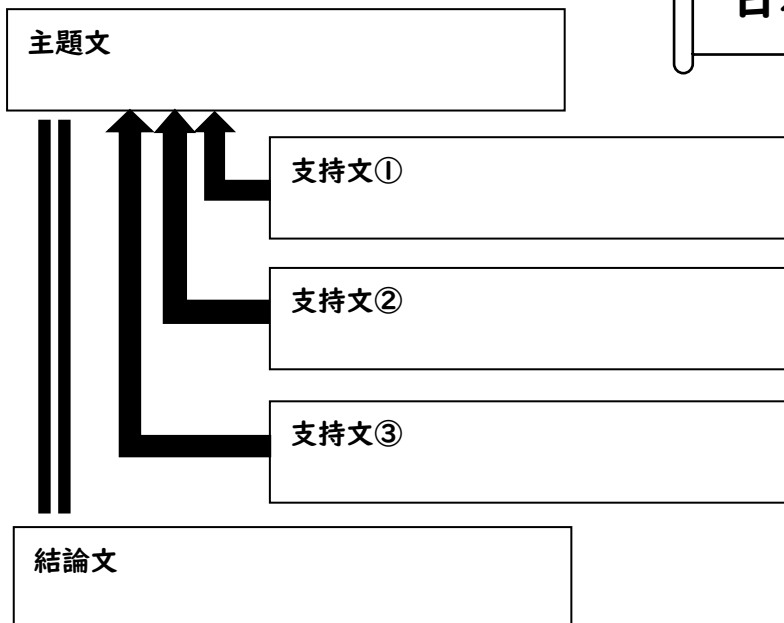
2	4	<p>日本文化を紹介するアイデアを発見し、アウトラインを作ることができる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートにアイデアを書く。 2 ピアフィードバックを行い、お互いにアドバイスし合う。 3 アイデアやアウトラインを再構築する。 	○		<p>思：ピアフィードバック後にアイデアやアウトラインが再構築できな生徒に対して、教師からのフィードバックを行う。 【観察、ワークシート】</p>
	5	<p>日本文化を紹介する原稿を友達とフィードバックし合って、より良い文章にすることができる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 原稿作りを行う。 2 ピアフィードバックを行う。 3 原稿作りが終わったらパソコンでレポート作成を行う。 	○	○	<p>思：ピアフィードバックだけでは適切な表現かどうか判断するのは難しい生徒には、教師からのフィードバックを行う。 【観察、ワークシート】 態：ピアフィードバックが難しい生徒には、教師やALTとのフィードバックの機会を設ける。 【観察】</p>
	6	<p>これまでの原稿をパソコンに入力することができる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時までの原稿を基に、パソコンに入力する。 	○	○	<p>知：スペリングに不安のある生徒は、辞書等を用いながら調べながら助言する。 【観察】 思：ピアフィードバックを参考にしていない生徒には、教師からのフィードバックを行う。 【観察】</p>
	7	<p>推敲を行い、日本文化を紹介するレポートを完成させることができる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前時に作成したレポートをプリントアウトし、ピアフィードバックを行う。 2 ピアフィードバックの結果を受けて、パソコンで加筆・修正する。 3 単元全体の振り返りを行う。 4 ALT からのフィードバックを受ける。 	◎	◎	◎

How to write a paragraph in English

Class() Name()

パラグラフの書き方

日本文化を紹介しよう



Write in English

How to write a paragraph

Explain Japanese cultures

